

ユーザーズマニュアル

Operation instruction

バーコードリーダー

HAR-VF

PAR-VF

PAX-VF



まえがき

このユーザーズマニュアルは、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。内容を理解されたうえでご使用ください。

本書は、詳細において本製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

なお、「タジマ刺繍機の基本知識」、および「セットアップ要領書」は、本製品に対する知識を深めていただくうえでお役に立つものと考えておりますので併せてお読みください。

関連する製品の取り扱い方法については、マニュアル CD に収めてある専用のユーザーズマニュアルをご参照ください。

株式会社 **TISM**

安全上のご注意

本製品をお使いになる人や他の人への危害、損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を以下のように表記します。



誤って取り扱うと、死亡あるいは重傷^[*1]となる危険性がきわめて高い注意事項




誤って取り扱うと、死亡あるいは重傷^[*1]となる可能性のある注意事項





誤って取り扱うと、軽傷^[*2]を負う、または物的損害が生じる可能性のある注意事項

*1: 感電、けが、骨折などで後遺症をもたらす、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

*2: 治療に入院や長期の通院を要さないもの。

: 禁止事項

: 守らなければ感電するおそれのある事項

: 安全のために守っていただきたい事項

1.	準備	1
1-1.	利用可能なバーコード仕様	1
1-2.	確認事項	1
1-3.	柄を本機に入力する	1
1-4.	メモリー柄 No. を変更する	2
1-5.	バーコードをゲージ枠に貼り付ける	4
1-6.	バーコード読み取り装置調整	4
1-7.	縫い開始時と終了時に自動で枠を移動させる	8
2.	縫い手順	13
2-1.	ゲージ枠をバーコード読み取り位置に移動させる	13
2-2.	起動	14
3.	トラブル対処	15
3-1.	エラーが表示されたとき	15
3-2.	バーコードリーダーが故障したとき	15
4.	付録	16
4-1.	バーコードリーダー	16
4-2.	バーコードシート（4 桁用）	17
4-3.	バーコードリーダー工場出荷時設定	18

1. 準備

柄を縫う前に以下の確認、準備が必要です。

- 1-1. 利用可能なバーコード仕様
- 1-2. 確認事項
- 1-3. 柄を本機に入力する
- 1-4. メモリー柄 No. を変更する
- 1-5. バーコードをゲージ枠に貼り付ける
- 1-6. バーコード読み取り装置調整
- 1-7. 縫い開始時と終了時に自動で枠を移動させる

1-1. 利用可能なバーコード仕様

- (1) バーコードの規格は、産業界で一般的な「Code39」を採用します。
- (2) 利用可能なバーコードナローバンド幅は、0.25mm 以上です。
- (3) バーコードに乱反射するコーティングや保護カバーがないようにしてください。

1-2. 確認事項

以下のパラメータ設定が「定置式」であることを確認してください。操作の途中でパスワードの入力が必要です。

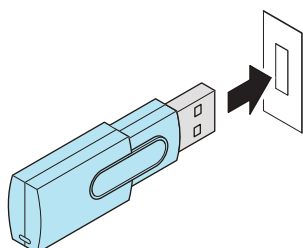
P7-「77 オプション装置 (ハード)」-P2-「16 バーコード読み取り装置」

1-3. 柄を本機に入力する

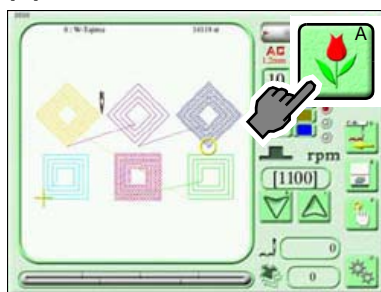
USB メモリーの柄を本機に入力します。

[操作方法]

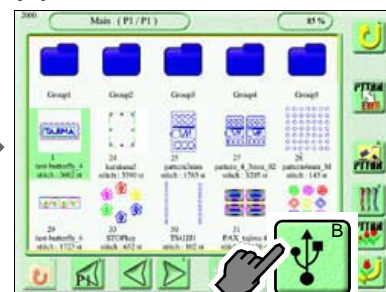
(1) USB メモリーをセット



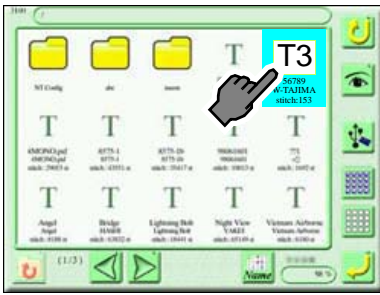
(2) アイコン A



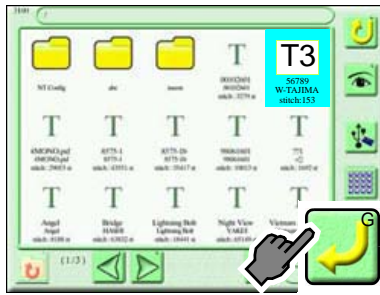
(3) アイコン B



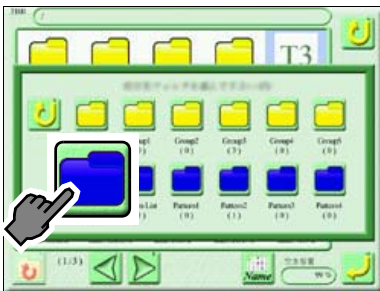
(4) 柄



(5) セット



(6) Pattern-Main



青色のフォルダを選択してください。柄は縫製モードとして保存されます。

(7) 2000 画面 (完了)



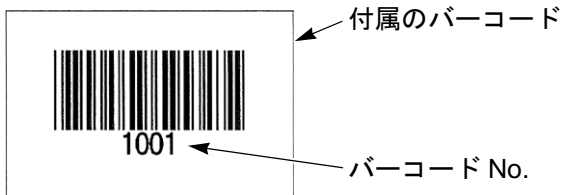
1-4. メモリー柄 No. を変更する

本機に入力された柄のメモリー柄 No. を変更します。メモリー柄 No. は、お客さまの仕様に応じたバーコード No. に合わせてください。

[バーコードシートを使用する場合]

バーコードシートは、付属の CD マニュアルに保存されていますので、プリントアウトしてご使用ください。(→ p.17)

4 桁バーコード

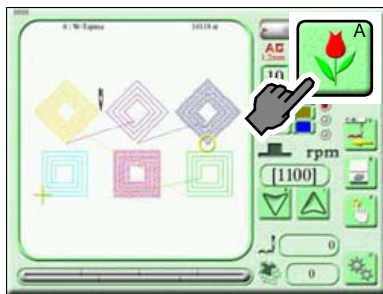


[バーコードシートを使用しない場合]

お客さまでバーコードを作成し、メモリー柄 No. (0001 ~ 9500) をお客さまの仕様に応じたバーコード No. に合わせてください。

[操作方法]

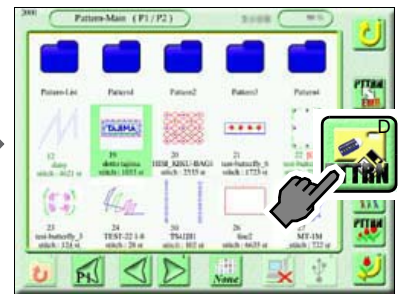
(1) アイコン A



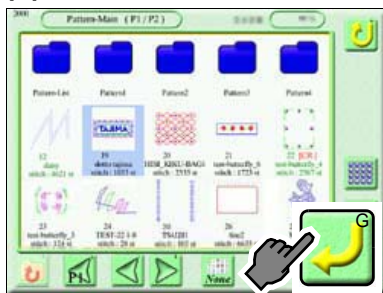
(2) 縫製柄



(3) アイコン D



(4) セット



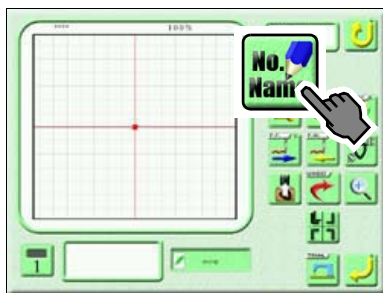
(5) 柄作製



(6) セット



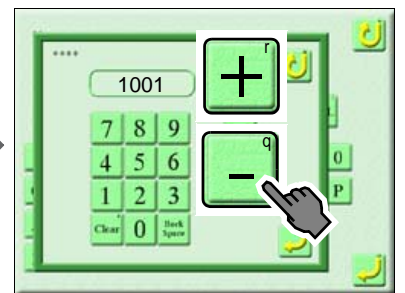
(7) 柄 No.



(8) 柄 No.

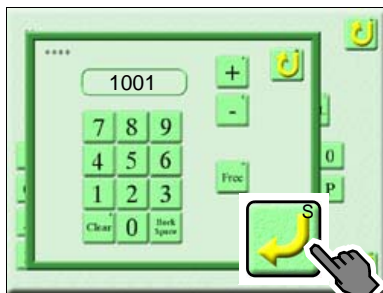


(9) 例 : 1001^[1]

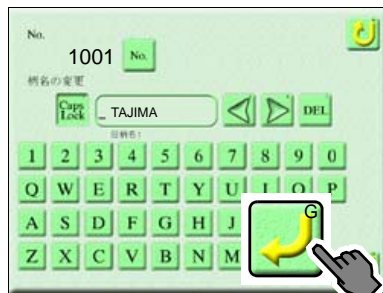


[1] すでに登録されている柄 No. を選択したときは、セットできません。

(10) セット



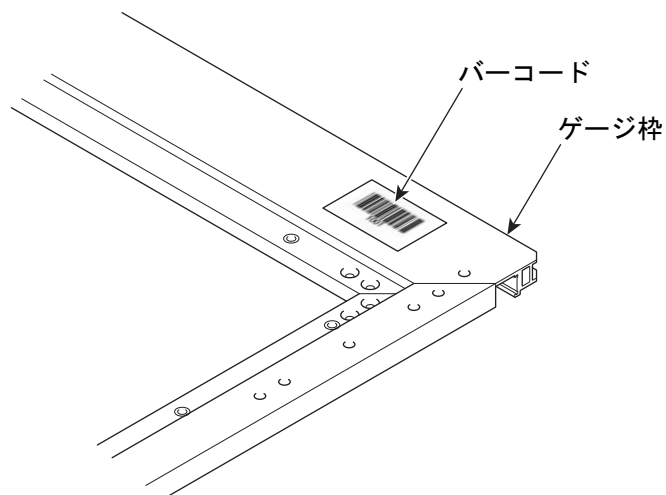
(11) セット (完了)



1-5. バーコードをゲージ枠に貼り付ける

バーコードをゲージ枠に貼り付けてください。

バーコードシートを使用する場合は、バーコードシートからメモリー柄 No. と同じバーコードを切り取り、ゲージ枠に貼り付けてください。

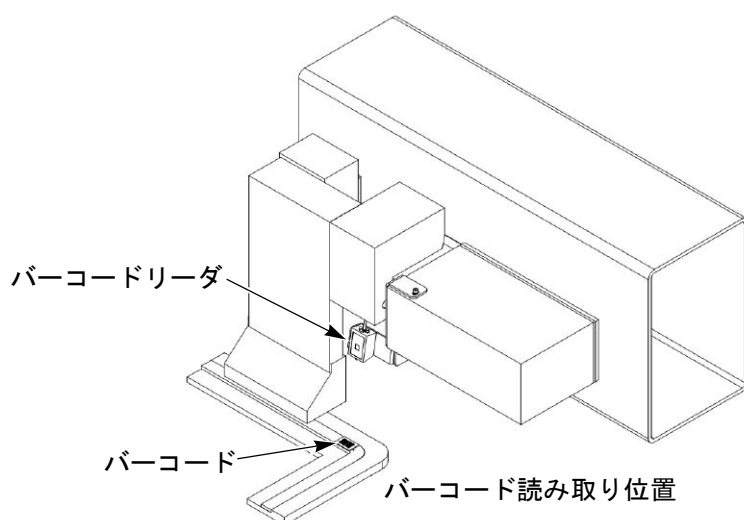


1-6. バーコード読み取り装置調整

以下の操作パネルの操作で枠をバーコード読み取り位置に移動させてください。

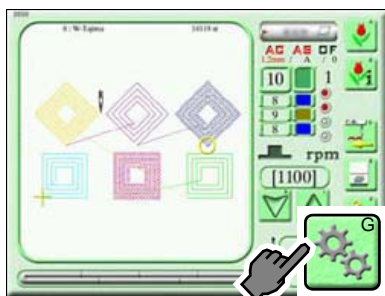
注意

⊘ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。



[操作方法]

(1) アイコン G



(2) P6 を 2 回押す



(3) アイコン S



(4) パスワードを入力



(5) セット



(6) SEL



(7) アイコン T



(8) ALL Yes



レベル SEL の設定中は、外枠が黄色になります。

黄色



(9) セット



(10) セット



(11) アイコン A



(12)85 機械調整



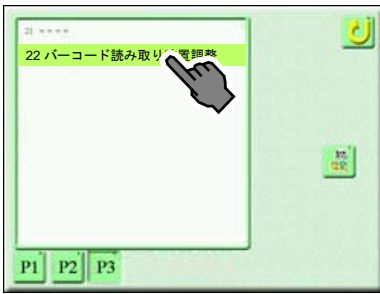
(13)アイコン T



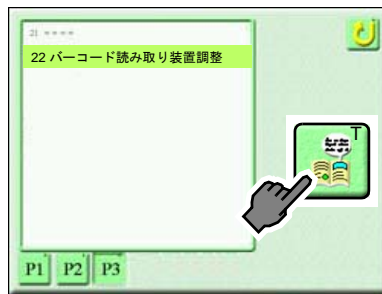
(14)P3



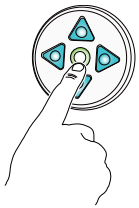
(15)22 バーコード読み取り装置調整



(16)アイコン T



(17)枠移動

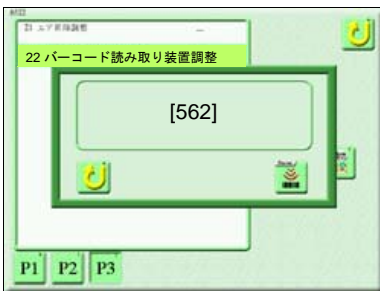


枠をバーコード読み取り位置に移動させてください。

(18)READ



バーコード読み取り成功



バーコードが読み取れた場合は、左図のようにバーコード No. が表示されます。

バーコードが読み取れない場合は、[RE] (Read Error) が表示されますので、再度枠を移動させ、[READ] アイコンを押してください。

(19)アイコン A



引き続き、次の「39 任意位置」の設定を行ってください。この設定によって、バーコード読み取り位置が本機に登録されます。

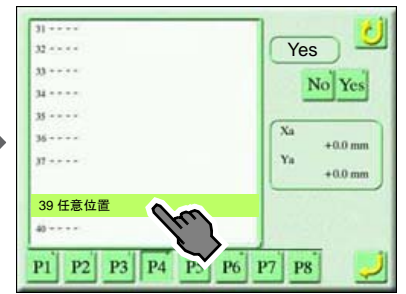
(20)アイコン A



(21)P4



(22)39 任意位置



(23)Yes

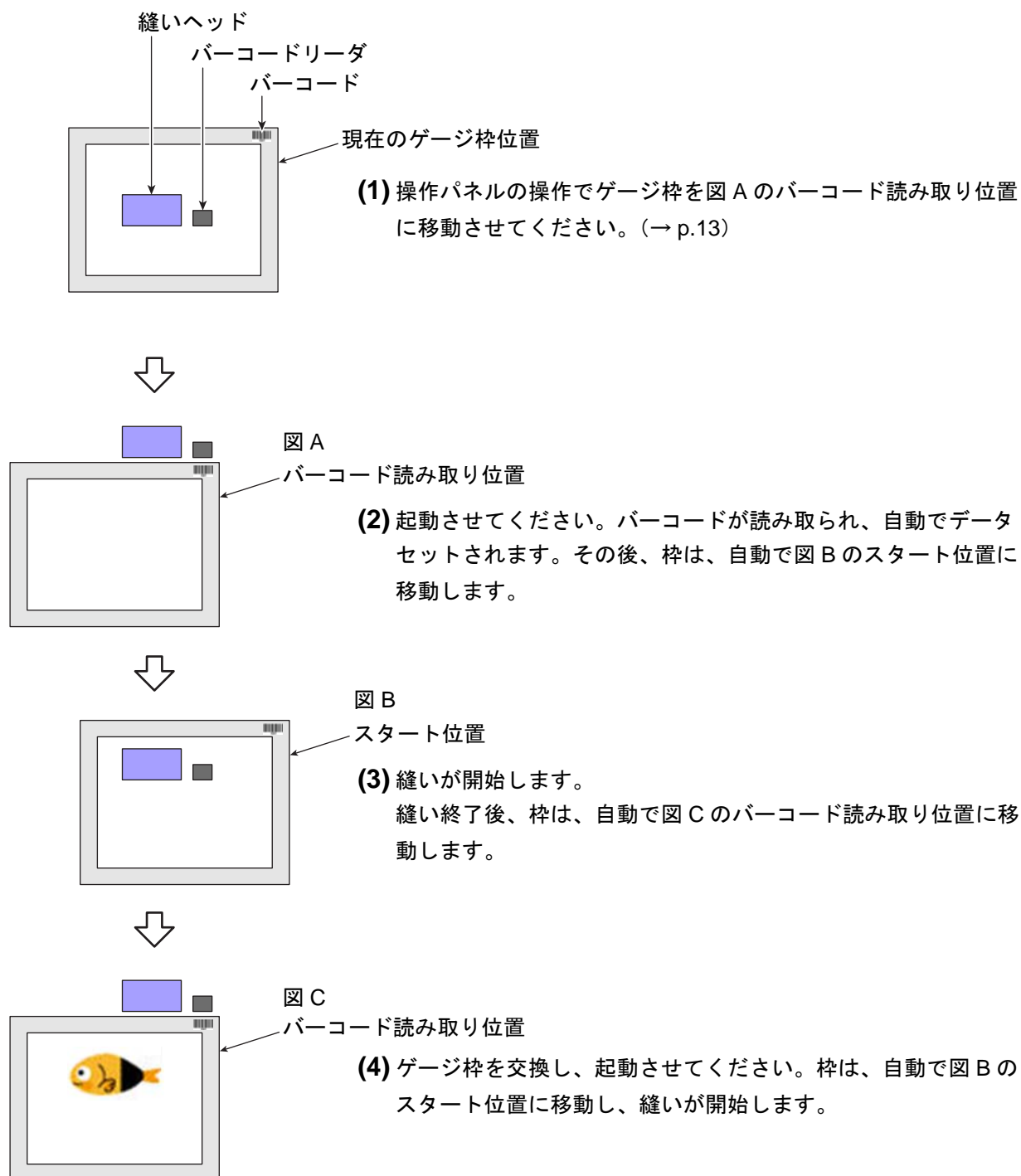


(24)セット (完了)



1-7. 縫い開始時と終了時に自動で枠を移動させる

この機能（自動オフセット）を使用して、オフセット位置にスタート位置とバーコード読み取り位置を登録することによって、縫い開始時には、枠は自動でスタート位置に移動し、終了時には、枠は自動でバーコード読み取り位置に移動します。詳細については、本機のユーザーズマニュアルをご参照ください。



枠は2箇所まで中間位置（OF1、OF2）を経由することができます。ここでの設定内容は、柄に付随されますので、次回この柄を刺繍するとき再設定する必要がありません。

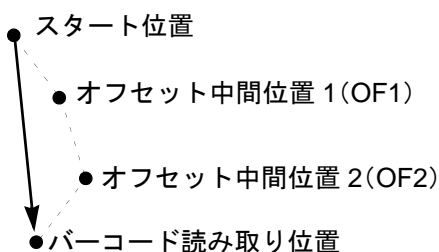
⚠ 注意

❌ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

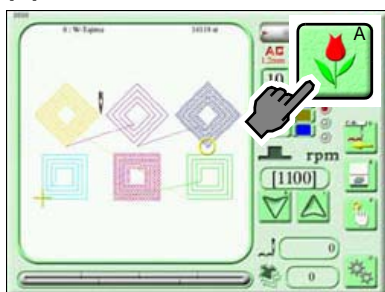
[操作例 その1]

以下は、柄に「スタート位置」が含まれている場合の操作例です。

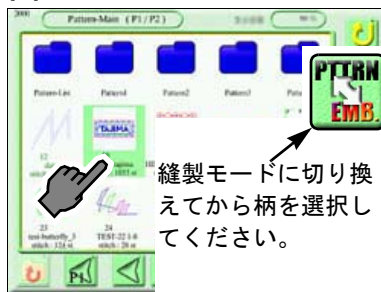
枠がオフセット中間位置（OF1、OF2）を経由せずに、スタート位置とバーコード読み取り位置間を移動する例です。下図は、自動オフセット設定段階での枠の動きを矢印で示しています。



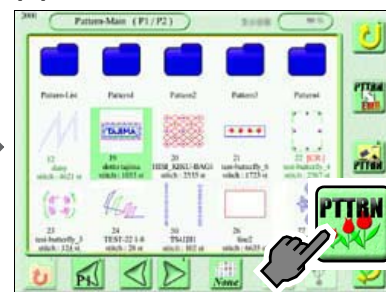
(1) アイコン A



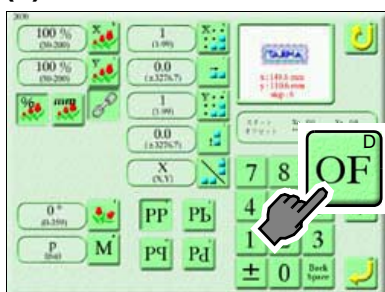
(2) 縫製柄



(3) PTTRN



(4) OF



(5) スタート位置

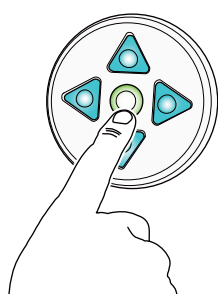


(6) Yes



「Yes」を押すと、枠は、柄に含まれている「スタート位置」に移動します。

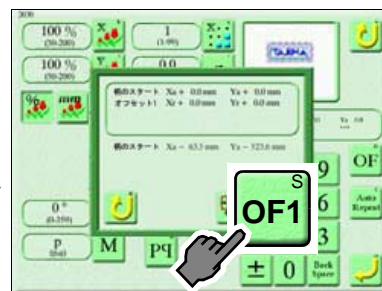
(7) バーコード読み取り位置



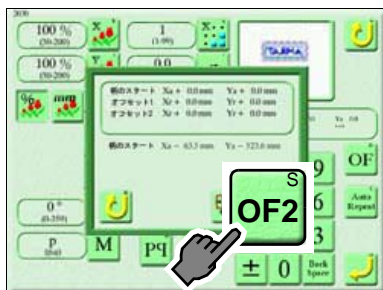
枠移動キーを押して、枠をバーコード読み取り位置に移動させてください。

● スタート位置
● バーコード読み取り位置

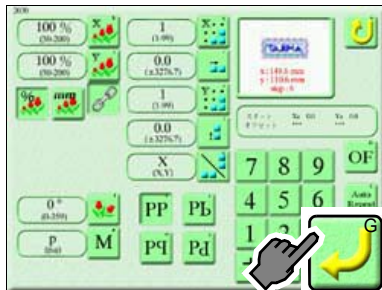
(8) OF1



(9) OF2



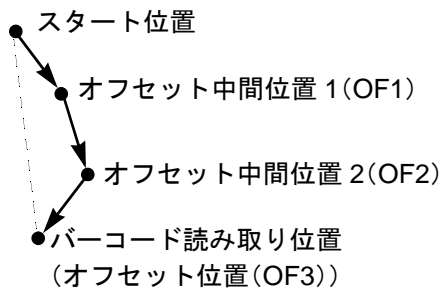
(10) セット (完了)



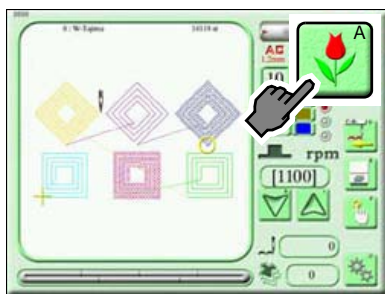
[操作例 その2]

以下は、柄に「スタート位置」が含まれている場合の操作例です。

枠がオフセット中間位置（OF1、OF2）を経由して、スタート位置とバーコード読み取り位置間を移動する例です。下図は、自動オフセット設定段階での枠の動きを矢印で示しています。



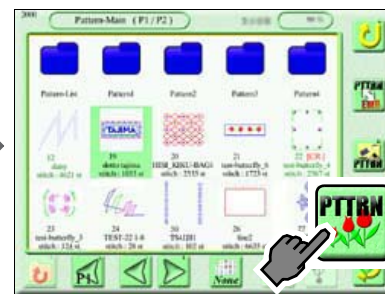
(1) アイコン A



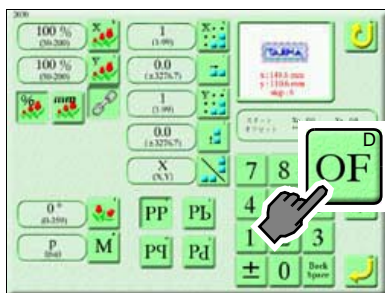
(2) 縫製柄



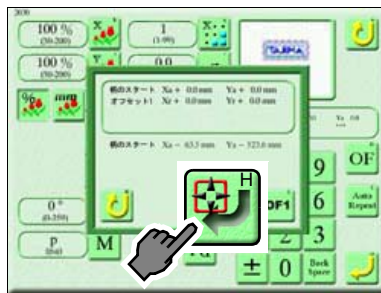
(3) PTTRN



(4) OF



(5) スタート位置

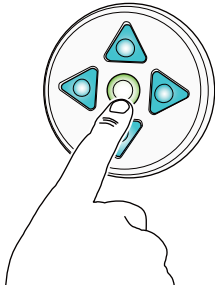


(6) Yes



「Yes」を押すと、枠は、柄に含まれている「スタート位置」に移動します。

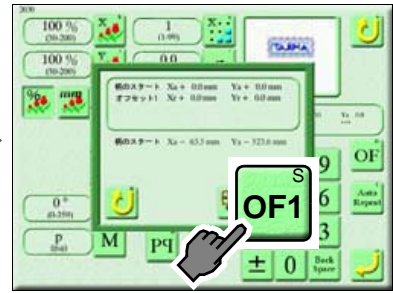
(7) オフセット中間位置 1 (OP1)



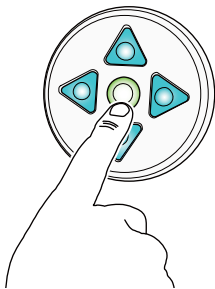
枠移動キーを押して、枠をオフセット中間位置 1 に移動させてください。

- スタート位置
- オフセット中間位置 1(OP1)

(8) OF1



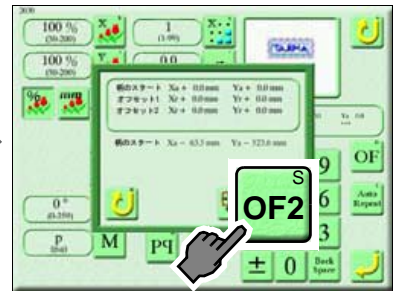
(9) オフセット中間位置 2 (OP2)



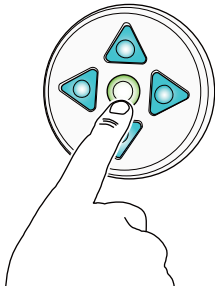
枠移動キーを押して、枠をオフセット中間位置 2 に移動させてください。

- スタート位置
- オフセット中間位置 1(OP1)
- オフセット中間位置 2(OP2)

(10) OF2



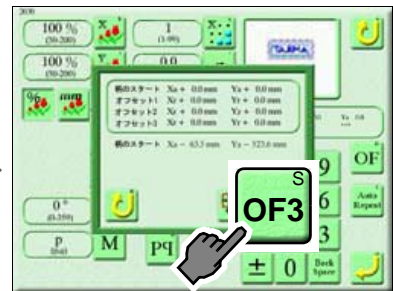
(11) バーコード読み取り位置



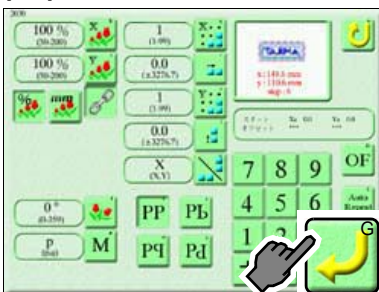
枠移動キーを押して、枠をバーコード読み取り位置に移動させてください。

- スタート位置
- オフセット中間位置 1(OP1)
- オフセット中間位置 2(OP2)
- バーコード読み取り位置

(12) OF3



(13) セット (完了)



2. 縫い手順

縫いを開始する前に、パラメータ設定が「定置式」であることを確認してください。(→ p.1)

⚠ 注意

⚠ パラメータ設定が「定置式」でない場合、針がゲージ枠に落ち、部品が破損するおそれがあります。

2-1. ゲージ枠をバーコード読み取り位置に移動させる

この操作は、現在の枠位置がバーコード読み取り位置でないときに行ってください。
ゲージ枠をバーコード読み取り位置に移動させるためには、以下の設定が必要です。

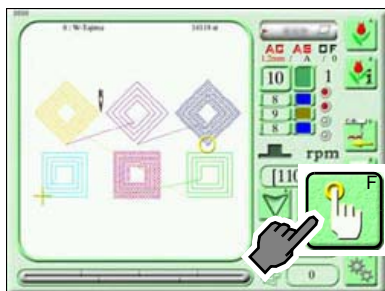
→ 1-6. バーコード読み取り装置調整 (→ p.4)

⚠ 注意

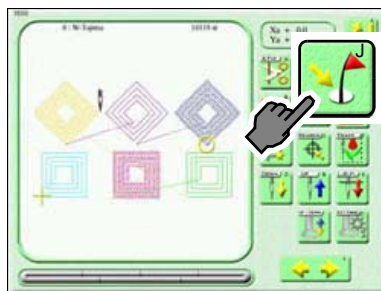
⊘ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

[操作方法]

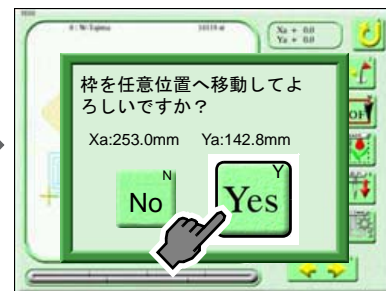
(1) アイコンF



(2) アイコンJ



(3) Yes (完了)



2-2. 起動

- (1) 本機を起動させてください。起動させることによって、バーコードが読み取られ自動でデータセットされます。起動から縫い始めるまで数秒かかります。(柄の針数によって異なります)

ただし、縫い途中、バーコードリーダーは、バーコードを読み取りません。

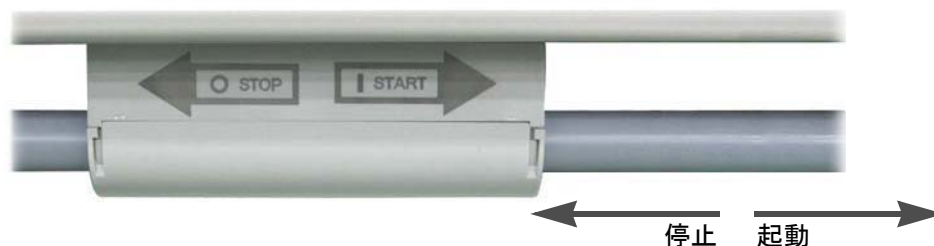
! 注 意

- ! 縫い途中、バーコードリーダーは、バーコードを読み取りません。縫い途中、本機が停止中にゲージ枠を交換し、起動させてもデータセットされず、縫いが続行され、針が枠に落ちるおそれがあります。

縫いを中断する場合は、以下の手順に従ってください。

- 操作パネルの操作でデータセットを解除してください。
- 操作パネルの操作でゲージ枠を「バーコード読み取り位置」に移動させてください。(→ p.13)
- 起動させてください。バーコードが読み取られ、柄の先頭から縫いを開始します。

パースイッチ



- (2) 縫い終了後、枠は自動で「バーコード読み取り位置」に移動します。ここでゲージ枠を交換後、起動させると、枠は自動で「スタート位置」に移動し、縫いが開始されます。(→ p.8)

3. トラブル対処

3-1. エラーが表示されたとき

(1) BC1

名称：デザイン未登録エラー

発生条件：入力しようとする柄が、本機にメモリ登録されていない場合

処理方法：「メモリ柄 No.」を確認する。柄を本機に入力する。

(2) BD1

名称：バーコード読み取りエラー

発生条件：バーコードリーダが読み取れない場合

処理方法：ゲージ枠のバーコード張り替えやバーコード位置調整をする。

3-2. バーコードリーダが故障したとき

バーコードリーダが故障したとき、本機パラメータ（下記）を OFF にするとバーコードと柄のリンクは解除されます。バー起動でデータセットされた柄を縫製可能です。

P7-「77 オプション装置（ハード）」-P2-「16 バーコード読み取り装置」

4. 付録

4-1. バーコードリーダー















































仕様

- (1) 定置式
- (2) I/F : USB (COM)
- (3) 読み取り方式 : CMOS エリアセンサ式
- (4) 動作温度 : -20 ~ 50 °C
- (5) 動作湿度 20 ~ 85%RH

4-2. バーコードシート（4桁用）

サンプルとしてバーコードシート（4桁用）を添付します。バーコードシートは、付属の CD マニュアルに保存されていますので、プリントアウト後、バーコードを切り取ってご使用ください。

Memory Design No.1001 to 1050 / メモリ柄No.1001~1050
 If the margin on both sides of the bar code is small, it may cause a reading error.
 Please cut off the bar code along the lines and use.
 両サイドの余白が小さいと、読み取り不良の原因になります。切り取り線に沿って切り離してご使用下さい。

 1001	 1002	 1003	 1004	 1005
 1006	SAMPLE			 1010
 1011				 1015
 1016	 1017	 1018	 1019	 1020
 1021	 1022	 1023	 1024	 1025
 1026	 1027	 1028	 1029	 1030
 1031	 1032	 1033	 1034	 1035
 1036	 1037	 1038	 1039	 1040
 1041	 1042	 1043	 1044	 1045
 1046	 1047	 1048	 1049	 1050

TOKAI INDUSTRIAL SEWING MACHINE CO.,LTD.

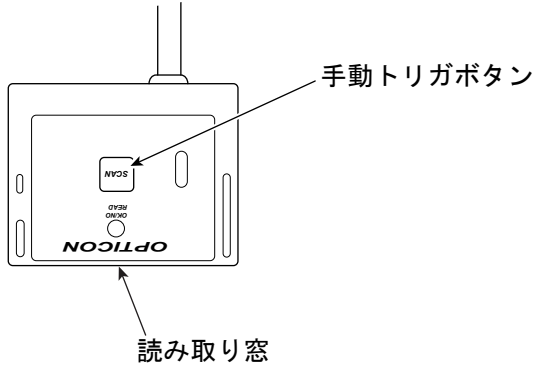
1 / 60

4-3. バーコードリーダ工場出荷時設定











4桁のバーコードをメモリー柄 No. として使用するための設定です。(初期化)

これは、本機の工場出荷時に設定済みです。

この設定を行うときは、バーコードリーダの手動トリガボタンで行います。手動トリガボタンを押すと、読み取り窓から読み取りラインが照射されますので、下表のバーコードを順番にスキャンしてください。



設定	コマンド	バーコード
(1) 開始	ZZ	
(2) USB-COM	C01	
(3) 1 秒	Y1	
(4) ブザー音量 : 小	T3	
(5) 終了	ZZ	
(6) 開始	ZZ	
(7) エラーメッセージ : ラベル無し	TH	

(8) R	OR	 O R
(9) E	OE	 O E
(10) ^M(CR)	1M	 1 M
(11) 終了	ZZ	 Z Z
(12) 開始	ZZ	 Z Z
(13) エラーメッセージ：デ コード失敗	TI	 T I
(14) R	OR	 O R
(15) E	OE	 O E
(16) ^M(CR)	1M	 1 M
(17) 終了	ZZ	 Z Z

初版 2016年5月
4版 2019年5月

■製造元：株式会社 **TISM**

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地
TEL：(0568)33-1161 (代表) FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地
TEL：(0568)37-1130 (代表) FAX：(0568)37-1230

本書の一部または全部を無断で複製、転載、改編することを禁止します。